

学校だより



令和6年3月13日(水)
3月号その2
(NO. 12)

尾崎市立明城小学校

<http://www.ama-net.ed.jp/school/e01/>
尾崎市南城内 10 番地の 1 TEL06-6481-2432

学校アンケート（令和5年度7月・2月分）

文章での回答につきましては、感謝のお言葉を数多くいただきました。これを励みによりいっそう学校での取組の充実を図りたいと思います。一方で、様々な課題も挙がりました。回答をご確認ください。改善に努めてまいります。

また、特定の教職員に対する要望は、ここには載せておりません。（特定であっても複数と考えられる場合は載せております。）また、特定の教職員に対する要望につきましては、学級名が未記載であるなど、教職員が特定できない場合がございます。その場合は、改めて当該教職員に直接、または、学年主任、校長・教頭などに要望をお伝えいただければ幸いです。

・避難訓練時の全校放送が聞こえなかった。

→修理し、現在は運動場のスピーカーより放送が聞こえるようになっております。

・学校内での決まり事が、先生やクラスによって異なるので統一してほしい。

→統一する点、学級の裁量に任される点を年度末、年度始めに改めて確認し合い、令和6年度に臨みたいと考えています。まだお伝えされていない場合は、具体的に「〇〇が先生やクラスによって異なるので、〇〇という不具合が生じている。学校だより3月号その2で、改めて意見を挙げるように書かれていた」という旨、担任を通じてお伝えいただきましたら、早急に検討いたします。

・外のトイレがきれいである明るい雰囲気になってほしい。

→以前より本市の学校施設の担当に改築の要望を出しているところです。市の予算、緊急度の高さにより、対応順位が変わってきますが、本校としては、引き続き要望を出し続けます。

・洋式トイレが少ない。和式トイレをもっと清潔にトイレトーパーを確実に入れておいてほしい。

→設備面につきましては、洋式トイレが少ないことによる弊害が生じている場合は、本市の学校施設担当に改修を要望します。トイレ環境につきましては、今年度、清掃時の教員の見回りを丁寧にするのを教職員間で共有しました。

・登校班の集合場所が信号近くである。

→安全面をまず第一として、様々な状況を考慮した上で、集合場所を決定しますので、まず、具体的にその班・集合地点をお伝えください。その際、学校だより3月号その2で、改めて意見を挙げるように書かれていたという旨、担任を通じてお伝えください。

・ケンカの増える3・4年生のために、彼らが相談できる時間が欲しい。

→ケンカの多い少ないは、学年では決まらなると認識しています。子ども同士のケンカ・トラブルには、子どもの話を十分に聞いて、相談の時間を十分にとり、丁寧な対応を心掛けるようにいたします。

・残食を減らす工夫をしてほしい。

→配膳の仕方の工夫、子ども達への食育により、残食を減らすことを考えています。

・個人懇談を年2回以上してほしい。

→学校が設定する個人懇談は、来年度も年1回ですが、担任と一対一でお話しするのは、この個人懇談の時期以外でも可能です。担任にご希望をお伝えいただければ、年2回以上の個人懇談が可能です。

・学級便りが少ない。

→担任により、限られた時間の中で、何を重点的に取り組むかが、異なる場合がございます。その担任の先生は、学級便りにかける時間を授業準備に割いている可能性もあります。ぜひ、直接担任の先生に相談して、その担任の先生の思いを聞いていただければと思います。

・現在紙媒体で行っているお知らせをインターネット上で行ってはどうか。

→現時点では紙媒体でのお知らせ中心です。エコの観点から、一部のお知らせ類については、試験的にWEB上での配布を実施し、検討の上、WEB配付を行いたいと思います。

・タブレットをたまに持ち帰り、撮影、オンライン提出しているだけでは、何の学習かわからない。

→より子ども達がタブレットを活用できるよう、教員間の情報共有や研修等で指導力を磨いていきます。一方で、一律の課題（宿題）を出した時に、タブレットの取り扱いに慣れている児童（とその御家庭）にとっては、物足りない活動と感ぜられることもございます。その点はどうかご理解ください。

・タブレットを学級閉鎖時のオンライン授業やサマースクールをオンラインでできれば、暑い夏の登校を避けられる。

→学級閉鎖時に、元気な児童のみを対象に授業を行うことはできませんが、これまでに学級閉鎖時の健康観察などをリモートで行うこともありました。有効活用していきたいと思います。また、サマースクールについては、自宅ではだらけてしまうが、学校では、周囲につられて、より集中できる児童が多いですので、このような児童のための学習の場という意味合いがあります。ただし、オンラインの長所もありますので、次年度1学期中に検討し、サマースクールの方法を決めていきます。

・水泳の授業を増やしてほしい。夏休みの水泳はしないのか。

→学期中の水泳の授業時間数については検討いたします。夏休みの水泳については、近年の気温上昇と指導者となる職員数の確保等を踏まえると、安全な指導環境が確保できない状況です。今後はそれら状況によって夏休みの水泳指導について検討する予定です。

・明城まつりで子どもが全部の店を回れるようにしてほしい。

→様々なご意見が出ていますので、開催方法につきましては検討した上で開催いたします。

裏へ続く→

- 学校のホームページに小さな行事予定も載せてほしい。最低一か月前には行事予定を伝えてほしい。
- 学校ホームページのお知らせ欄には、年度初めに決定している大きな行事のみ載せております。学年単位の行事もできるだけ載せたいのですが、すべては無理ですので、基本的に毎月末に発行される学年だよりでご確認ください。なお、少しでも早くご家庭に学年の予定を伝えるようにいたします。

- 家庭数でもプリントを配付し、経費削減、資源のエコ活用につなげてほしい。
- 確かにその通りです。学校だよりをはじめ、家庭数での配布を促進しているところです。

- 夏休みの作品作りは保護者が手を出さないと難しい。植物の持ち帰りは児童にとって負担である。
- 基本的に保護者様が手助けしなくてもできるものを作成することになっています。子どもがなかなか作り始めない、手が止まってしまったという場合は、保護者様のお声掛けをなんとかお願いいたします。日々の宿題（漢字・計算・文章題その他）においても、子どもが保護者様にできない問題について尋ねることもあると思います。教えられたら教えてくださっていると思いますが、それと同じスタンスで結構です。
- 植物の持ち帰りにつきましては、確かに負担ではございます。ただし、1年生のアサガオを例にとると、夏休み中も花が咲きますし、収穫された種は、次年度の1年生にプレゼントする流れができております。ぜひとも、ご理解いただきたいと思っております。

- 学校と児童ホームの連携が密ではない。
- 管轄が異なることと、活動時間がずれていることから連絡が取りづらいことがあります。しかしながら、できる限りご期待に添えるよう努めたいと思っております。少なくとも、連絡ミス（誤った内容を伝える）等、明らかなミスはなくしていけるように努めてまいります。

- 担任が不適切な言葉を言った。
- あってはならないことです。事実確認の上、事実であった場合は、管理職より本人に指導いたします。（自覚がなかったり、忘れてしまったりしていることもあるので、できましたら、誰（先生）であるか校長または教頭へお伝えいただきたいと思っております。）

- 校門に自動ロックがかかっていて、いちいちインターホンを使って出入りするの面倒である。
- まさに、この面倒さが子どもたちを狙う不審者の校内侵入を防いだり、侵入までの時間を稼いだりすることに繋がっています。児童の安全のためと捉え、この不便さをどうぞご理解ください。

- 子どもがいつプリントを持って帰ってきたのか、いつ提出するのかがスタプラではわからない。連絡帳を使ってほしい。
- 子どもが持ち帰るプリントの枚数、そして特に提出物の期限は口頭連絡のみでは不十分です。連絡帳やスタディプランに書き込むなど、保護者様が目を通すことになっている媒体で連絡いたします。

※PTAについてのご意見は、PTAにお伝えし、必要に応じてPTAから回答していただくことを考えています。